

備に病棟業務に当直に勉強会にと盛りだくさんな日々を皆で丸となって、これからも全力で挑んでいきたいと思えます。

研修医 1 年目

妹尾 洋

(琉球大学医学部附属病院 研修医)

こんにちは、琉球大学医学部附属病院研修医 1 年目の妹尾洋です。出身地の大阪を出て、はや 7 年、沖縄でついに医者になりました。働き始めた頃は、右も左もわからず、あたふたしていましたが、2 年目の先生や指導医の先生に採血の仕方から患者さんへの接し方など色々なことを優しく教えてもらい、少しずつ新しい環境にも慣れてきました。働き始めてまだ半年ぐらしか経ちませんが、今まで研修してきた内容(感想など)を少し紹介したいと思います。今までローテーションしてきた科は、琉球大学医学部附属病院の消化器外科、小児科、消化器内科、呼吸器内科で、現在はハートライフ病院の救急科で研修しています。消化器外科では、手術前の準備や術中での補助・縫合を行い、最後に患者さんといっしょに ICU・病棟に帰るということをやっていました。縫合・抜糸・CV 挿入などの手技中心の研修で、少しずつですが手技がうまくなるのを体感でき、楽しく研修できました。次に回った小児科では、とにかく子供が可愛かったです(笑) 子供の中には原因不明の症状に苦しんでいる子もおり、先生の指導の下、症状や検査から色々な鑑別疾患を考え、あれこれ悩みながら研修生活を送っていました。鑑別疾患を考えていく中で、国家試験でおぼろげに覚えていた色々な疾患の勉強ができ良かったです。消化器内科では主に内視鏡室内視鏡カメラ操作の使い方や画像の読み方を中心に教えてもらいました。今まで本でしか内視鏡カメラの画像を見たことがなかったので新鮮な気持ちで勉強ができ、毎日楽しく過ごせました。呼吸器内科ではほとんどの時間を病棟で過ごしていたので、患者さんと接する機会が多く、患者さんが直面する問題について深く考えさせられました。また気管支鏡の検査があれば画像の読み方や気管支鏡の操作も教えてもらい、充実した時間を過ごせました。現在研修している救急では救急車対応とウォークインで来る患者さんの対応を同時に行い、専門の先生へ引き継いだり、軽傷であれば処方して帰宅させたりしています。最初、全く経験したことのない疾患が何の前触れもなくやってきて、頭が真っ白になる毎日を送っていましたが、多くの先生の協力もあり、最近ようやく慣れてきました。また患者さんと接する時間が今までより少ない分、会話のテクニックや第一印象も重要だとわかりました。今書いたことは、研修内容の一部分なのでこれから研修する予定の人は、自分で回ってみて体感してみてください



さい。まだ研修も約 1 年半残っているの、色々な科を回り、1 日 1 日を大切にしていきたいと思えます。

Hard Work, Hard Training

美里周吾

(中部徳洲会病院 研修医)

どうも、こんにちは。27 期生として今年なんとか卒業し、国家試験をおそらく学年 1 ギリギリで合格し、現在、中部徳洲会病院研修医 1 年次の美里周吾と申します。南風は学生の時から楽しませて頂いておりましたが、まさか自分が筆を取ることになるうとは…。学生の頃からずっと良くしていただいている上原さんに感謝です。

研修生活に関してということでお題を頂いたのですが、私の勤めている中部徳洲会病院の研修はタイトルに尽きるところづく感じています。昼間の勤務はおそらく他の病院とそう大差はないと思うのですが、一番の違いは当直体制です。夜 19 時から救急車対応が始まり、21 時から外来対応をし、間に 3 時間休みを挟んで 7 時までが当直帯です。3 時間のお休みも、休憩前までに患者さんの対応をしていればそれが終わるまでで、眠れないこともままあります。そして何より、救急車も外来も First Touch は初期研修医 1 年次が行うため、来院されてから診察、検査、アセスメントまでをまずは 1 人でやってみてから上級医にコンサルトとなります。これが最初はまったく慣れず、学業の成績が悪いため考えが及ばないことも多数あり、様々な人にご迷惑をおかけしました。それでも踏ん張りながらなんとか日々研鑽を積み、現在では当初よりは自信を持って対応することができています。決して慢心にはならないようこれからも努力を続けていくつもりです。もちろん急に全て自分でやったわけではなく、厳しくも優しい 2 年次の先生に教えられ、2 年次の先生と一緒に上の先生に教えてもらい、と完全な屋根瓦方式で充実した研修生活を送っています。救急車を絶対に断らないことが当病院のポリシーであるため、CPA(心肺停止)、レベル 300 の意識障害、80 歳のおじいちゃんの呼吸苦(心不全)、交通外傷、酔っ払いと 5 台、間をおかずに来た時にはさすがに泣きたくなりましたが…。

当直だけでなく各科の研修も完全屋根瓦方式にて行われ、それぞれ専門医の先生にしっかりと教えていただいています。手技があれば必ず行わせてくれるため、非常にレベルアップしていると感じます。教育回診も豊富で、バイタルサインの神様宮城征四郎先生を始め、中部病院感染症内科の喜舎場先生など多くの先生に教えて頂いています。

研修内容自体も魅力的ですが、何より病院スタッフの仲の良さが 1 番の自慢です。医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務員と職種の垣根が全くなく、気軽に話しながら、楽しく研修を行っています。

というわけで、厳しくも楽しい研修生活を送ってます。学生の皆さんも近いのでぜひ一度見学にいらっしゃってください。1 年生でもかまいません。27 期の皆さん！同窓会しましょう！それでは長々と失礼しました。また、何かの機会でお会いしましょう！

